

B-23 被服の外観と機能の問題 玉縁穴の布目方向について

昭和女子大 鈴木キミ子

1. 前報実験でボタンの、玉縁穴の通りぐあいは、ボタンのデザイン(型・厚さ)・玉縁幅・玉縁たけ・玉縁布の布目方向に影響されることの概要を掌握した。今回はその通りぐあいに関係する一因子、玉縁布の布目方向につき実験を行なった。

2. ボタンの直径を使用率の高い25mm, 厚さ2・3・4mmの同型ボタンを製作した。玉縁たけは、ボタンの直径にその厚さを加え、玉縁幅を2・3・4mmの3種とし、玉縁布を布目方向別(たて・よこ・ななめ)にして1条件5個、計135個の玉縁穴を縫製し、インストロンを用い、ボタン3種の玉縁穴通過に要する力を測定、ボタンの、穴通りぐあいを比較した。

3. 同一条件のとき、穴通過に要する力は、玉縁布方向たて>よこ>ななめである。・玉縁幅により、玉縁布3方向の相互関係は相違する。・玉縁幅の広いとき、玉縁方向ななめを用いれば、玉縁たけはボタンの厚さ分を加えなくとも良いように思われる。・玉縁幅を細くしたいときは、玉縁布はななめ方向が良いと考えられる。